



長門の話題

Topics

香月泰男没後40年 《シベリヤ・シリーズ》より 描き続けたシベリヤの記憶

3月8日(土)、香月泰男美術館で「特別展「香月泰男没後40年 香月泰男《シベリヤ・シリーズ》より」のオープニングセレモニーが行われました。はじめに大西市長が「この機会に多くの人に来場していただき、香月の思いに触れてもらいたい」とあいさつしました。

テープカット後に行われたギャラリートークでは、県立美術館の萬屋健司専門学芸員が「図録とは違い、本物を見てみなければわからない見ごたえのある作品ばかり」と話しました。また、香月画伯の表現方法の特徴や技法、修復作業の工程などをどわかりやすく説明しました。



▲作品の前で解説をする県立美術館学芸員の萬屋さん

▼香月婦美子名誉館長らによるテープカット



完全統合後、初めての 大津緑洋高校卒業式 伝統を託し、新たな旅立ち

3月1日(土)、大津緑洋高校大津校舎で卒業式が行われました。今回の卒業式は、大津高校・水産高校・日置農業高校が完全統合されてから初めてとなり、卒業する生徒と保護者、各校舎の2年生、教職員等約600人が集まりました。清水利宏校長は、「皆さんの新しい旅立ちに期待し、こ

の地で活躍を見守っています」と式辞を述べました。卒業生答辞では、各校舎から1人ずつあいさつに立ち、家族や先生への感謝のことは述べました。今年の卒業生は、大津校舎115人、水産校舎38人(専攻科7人含む)、日置校舎54人の計207人でした。



▲答辞を述べる大津校舎の村岡美紀さん(左)、水産校舎の静間萌々子さん(中央)、日置校舎の田中翼さん(右)

「通鯨唄」の引継式 鯨唄の伝統が引き継がれる

3月4日(火)、通小学校で地区の伝統芸能「通鯨唄」の引継式が行われました。この式は、卒業する6年生2人から下級生に通鯨唄の伝統とともに法被や太鼓のぼちを引き継ぐものです。式では、全校児童25人が最後となる鯨唄を披露。歌い終

えると、6年生の福岡瑞貴君が法被を、福岡未来君が太鼓のバチをそれぞれ5年生の代表に手渡しました。式の最後には、児童全員で指導を務めた保存会の会員に「自信を持って歌えるようになったのは、皆さんのおかげです」とお礼を述べました。

俵山地区お互い様ネットワーク「黄色い旗運動」 安心して暮らせる地域に

3月3日(月)、俵山公民館で「俵山地区お互い様ネットワーク黄色い旗運動」の開始式が行われました。開始式では、「黄色い旗」の除幕が行われ、俵山地区社会福祉協議会の藤野忠次郎会長が「老いも若きも全員参加。1人1役という気持ちでこの

運動に取り組んでいきたい」とあいさつをしました。「黄色い旗運動」は、軒先などに黄色い旗を掲げ「今日も元気です」というメッセージを周辺に伝えるものです。黄色い旗運動は、この日から俵山地区全422世帯で一斉に実施されます。



海上交通安全祈願祭 交通安全と繁盛を祈る

3月2日(日)、仙崎の青海島観光汽船桟橋広場で、海上交通安全祈願祭が開催されました。この祈願祭は、観光船など海上交通の安全を祈願するもので毎年行われています。従業員と関係者合わせて約20人が出席し、仙崎の八坂神社宮司により安全祈願神事が

行われました。神事が終わると、事前に応募した人たちが乗船し、出航。県内各地から140人が参加し、7隻に分かれて約40分の海上パレードを楽しみました。この観光船は、迫力ある海上アルプスの景観を楽しむことができます。



▲「黄色い旗」のデザインが除幕される

▼デザインした俵山中の山下さん(左)と俵山小の西村さん(右)



長門のPeople



こよなく愛する三隅川を
いつまでも美しく

三隅地区を流れる三隅川では、子どもたちの手により、毎年「アユの放流」が行われています。
4月12日(土)、三隅川河川公園「清流」において、生き物がいつまでも元気に育つ美しい川であるようにとの想いを込め、約10,000匹のアユが放流されます。
三隅地域環境パートナーシップ会議の三隅川保全部会で活動が続ける福田さんは、放流体験を通して子どもたちに三隅川の美しさ、魅力を伝えています。

福田 保太郎 ふくだ やすたろう

昭和13年11月9日、長門市三隅生まれ。平成10年からアユの放流を始める。平成13年4月、幅広い環境保全活動を推進しようと設置された三隅地域環境パートナーシップ会議「三隅川保全部会」に活動が引き継がれ、現在に至る。75歳。

三隅川。「昔はサケが豊原までよう上がってきよった」と懐かしそうに話します。農繁期にサケが遡上すると、くわを矛に持ち替え、鮭を追いかけていたそうです。
サケの遡上は、昨年も10匹ほど確認できたようで、三隅川は現在も、昔と変わりのない環境にあるようです。

愛情を持って見守る

河川監視員を10年以上務め、月に2度上流から下流をパトロールしています。
人一倍愛情を持って三隅川を見つめ、県に川のようすを報告したり河川環境について要望したりしています。

三隅川とともに

三隅川保全部会の主な活動は、子どもを対象にした放流とふるさとまつりで行うつかみ取り。「いつかこの公園で鮎の塩焼きを食べさせて、今以上に川を身近に感じてもらいたい」と夢を語ります。

福田さんの生活は、誰よりも愛情を注ぎ、見守ってきた三隅川とともにあります。

こよなく愛する三隅川

子ども頃からよく遊んだ

ちびなが商店街をつくろう9

仮想商店街で仕事を体験

2月23日(日)、「ちびなが商店街をつくろう9」がルネッサながとアリーナで開催されました。
この企画は、仮想の商店街で子どもたちが実際に商品製作・販売したり、店舗のオーナーとなって運営することで、楽しみながら職業体験

をしてもらおうと、ちびなが商店街実行委員会が毎年開催しています。会場には飲食店、文房具店、駄菓子屋、スポーツ店など38店舗が軒を連ね多くの来場者で賑わいました。
また、飲食店も用意され食事をする家族連れなどいっぱいになりました。

3月7日(金)、仙崎白潟の海岸で「リュウグウノツカイ」が見つかりました。
発見されたリュウグウノツカイは、43センチメートル。深海の中層にすむ、世界最大の硬骨魚です。発見した大田さんは「こんな近くで見られるとは」と驚いていました。



リュウグウノツカイが見つかる 竜宮城からの使者が白潟へ

実習船「海友丸」が遠洋航海を終え帰港

たくましく成長した姿を

3月13日(木)、1月に出航した大津緑洋高校水産校舎の実習船「海友丸」が航海を終えて仙崎岸壁に帰港しました。
海友丸は、海洋技術科2年生28人と専攻科1年生6人を乗せ、今年1月10日に仙崎を出航しました。
下船式では、海洋技術科2

年の高山桂さんが「この航海で集団行動の大切さや厳しさなど多くのことを学んだ。これからの学校生活などに生かしていきたい」と実習生を代表してあいさつをしました。
下船して家族に迎えられた生徒は、うれしそうに話をしていました。

▼元気に下船する実習生



山口県知事選挙 投・開票結果

平成26年2月23日執行

長門市	男	女	計
当日有権者数(人)	14,281	17,312	31,593
投票者数(人)	6,903	8,744	15,647
投票率(%)	48.34	50.51	49.53

候補者氏名	党派	長門市	山口県
当 村岡 つぐまさ	無所属	11,703	286,996
たかむら 勉	無所属	2,605	115,763
ふじい 直子	日本共産党	1,095	46,402
無効票その他		244	7,813
計		15,647	456,974

■問い合わせ
長門市選挙管理委員会 TEL 23-1167